

2025年3月28日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

二松学舎（証券コード：－）

【維持】

発行体格付： A- [安定的]

【格付理由】

明治時代の著名な漢学者で法曹界の実力者でもあった三島中洲が、1877年に創設した漢学塾を起源とする。大学を中心に2つの附属高校と1つの附属中学校を設置し、5300人弱の学生・生徒数を有する。東京都心の九段にメインキャンパスを構え、立地に優れるほか、千葉県柏市にも大学と附属校のキャンパスを備える。夏目漱石や犬養毅が学び、渋沢栄一や吉田茂が舎長を務めるなど、大学関係者には多くの著名人が名を連ねる。文学部と国際政治経済学部の2学部を設置し、国語科の教員養成では「国漢の二松学舎」と呼ばれ、中等教育機関向けに多数の教育者を輩出している。

一般選抜の募集枠を総合型選抜に振り替えるなどの入試改革により、2024年度の総志願者数は前年度比16%減となった。学部・学科別にみると、募集定員が多い文学部の国文学科や、隔年減少の影響があったとみられる国際政治経済学部の減少幅が大きかった。2025年度入試では、総合選抜の枠をさらに増員するなど改革を一段と推進し、広報活動にも注力した。国際政治経済学部で前年度を上回る志願者数を確保できたこともあり、全体でも前年度並みの実績を残せそうだ。中長期的な学生募集の動向を確認していく。

長期ビジョン「N' 2030 Plan」を公表し、附属中高と一体で教育・経営面で改革に取り組んでいる。「東京所在の中堅私立大学から更に優れた私立大学へのブランドアップ」を掲げ、変化に柔軟に対応できる「問題解決力・想像力・復元力」を備える人材の育成を進めている。新学科・新研究科の開設、新カリキュラム導入などの実績を残した。正規科目に導入した新カリキュラムは文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの認定を受けるなど、リベラルアーツ教育にも力を入れている。将来を見据えた特定成長分野向け人材の育成を目的に、文理融合型の学科創設を検討している。経営基盤の強化につながるか、注視していく。

学費改定効果などにより、基本金組入前当年度収支差額は回復傾向にある。安定的な学生・生徒数の確保、効率的な資産運用も収支差額の改善に寄与している。2024年度までの直近2期では、寄附金関連の収入増加を主因に、収支状況や財務構成は格付対比で十分な水準を維持できそうだ。今後、大学新校舎の整備、附属高校の校舎建て替えなどで相応の投資が必要になるとみられるものの、安定した収益推移、含み益のある有価証券や不動産を支えに財務面への影響を抑制できる可能性が高い。

【格付対象】

発行者：二松学舎

【維持】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A-	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	二松学舎
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2025年3月28日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイトにて上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。